高森町の人事交流

第3弾

【人づくりのための人事交流】

草村町長の施策の柱である「人づくり」を行政の分野でも実現するため、熊本県と高森町職員が２カ年にわたる人事交流を２期連続（①平成 24 年度～ 25 年度、②平成 25 年度～ 26 年度）実施しました。通常の人事交流は１年間ですが、高森町では初の２年間にわたる交流となりました。人事交流は、同じ町村へ２年連続で行った前例はありません。

また、昨年に農林水産省（本省）と高森町の２カ年（平成 25 年度～ 26 年度）にわたる人事交流が実現しました。職員の意識を高め、国や県の施策をより活用できるよう住民サービスの充実に努めてまいります。これまでの相互人事交流は左図のとおりです。

８月１日　総務省（本省）との人事交流が実現！

町と国との人事交流が昨年に続き極めて異例の実現を果たしました。

木村　允哉（まさや）

H 26
～H 28

定光　貴史（さだみつ　たかふみ）

趣味：ディズニー

メッセージ

総務省から出向で参りました、定光です。総務省での経験を生かしながら、高森町のために一生懸命がんばりますので、よろしくお願いいたします。

26年度新人職員

本田まどか（ほんだ）　保健師

健康推進課
健康推進係

倉岡　沙織（くらおか　さおり）

健康推進課
国民健康保険係

後藤　理奈（ごとう　りな）

住民福祉課
住民係

荒牧　茉名（あらまき　まな）

住民福祉課
福祉係

紫垣　香子（しがき　ここ）

住民福祉課
福祉係

『情報モラル』

７月17日（木）、高森中学校で「情報モラル出張授業」が行われました。

近年、生徒の携帯電話の所持率が高くなり、多機能携帯電話（スマートフォン）ならではの事件やトラブルが発生しています。この授業は、情報モラルプロジェクトチーム（生徒会執行部と各クラス代議員）が夏休みを前に正しい使い方、考え方を身につけようと企画し実現したものです。

グリー株式会社管理総括本部の小木曽氏を講師に招き、スマートフォンやＳＮＳに関する現状やトラブル等について詳しく学ぶことができました。

▲ 講演を真剣に聞く生徒たち

町と国・熊本県の相互人事交流図（現在）

藤原　厚作

現：農林政策課　審議員
農林水産省（本省）からの出向

H 25～H 26

入江　辰哉

現：農林水産省（本省）職員
高森町からの出向

新井堅太郎

現：健康推進課　課長補佐
熊本県からの出向

H 25～H 26

馬原　孝平

現：熊本県　観光課
高森町からの出向

平成24年度からの熊本県職員『服部信一郎さん』と高森町職員『二子石誠』の人事交流が終了し、本庁へ二子石が戻りました！今後も県とのパイプを糧に事業の推進に繋げていきます。
また、下記のとおり新規採用職員（10名）を改めてご紹介します。

二子石　誠

終了

服部信一郎

お世話になりました！

甲斐（かい）　美咲（みさき）

保育士

高森町立
色見保育園

住吉（すみよし）　恵（めぐみ）

保育士

高森町立
高森東保育園

古川（ふるかわ）　雅堂（まさたか）

農林政策課
農地係

児玉（こだま）　明（あきら）

政策推進課
情報管理係

梅田（うめだ）　大輔（だいすけ）

教育委員会事務局
社会教育係

県議が視察

7月23日（水）、熊本県議会総務常任委員会が高森町を訪問しました。

県議会の訪問は、教育警察常任委員会に続いて、今年度2度目となります。

委員会と意見交換を行った総務課は、町の概要や抱えている問題、これまでの政策など具体的数値をあげて説明しました。質疑応答の時間では、委員会から「県にしてほしいことは？」との質問があがりました。町は、現在のいびつな職員体制をふまえ、今後の事務量の増加と新しい事業に対応するため、合併して職員数の多い自治体からの出向や事務の推進体制の検討を望む返答をしました。

▲ 杉浦総務常任副委員長の挨拶